

- 当社は、工場の冷暖房に用いている空調機械を更新することにより、暖房は重油焚きボイラー蒸気による加熱から高効率のヒートポンプ方式へ、冷房は大型冷却タワーを使った水冷式から空冷式へそれぞれ転換します。
- これにより、ボイラーの重油使用量の削減および大型冷却タワーの廃止による冷却水ポンプの使用電力の削減を図り、排出されるCO2を減少させていくことで、付加価値の創出と環境への負担低減を図ります。

<事業適用計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2023年9月～2025年3月

2. 生産性向上目標

炭素生産性29.2%向上を目標とします。

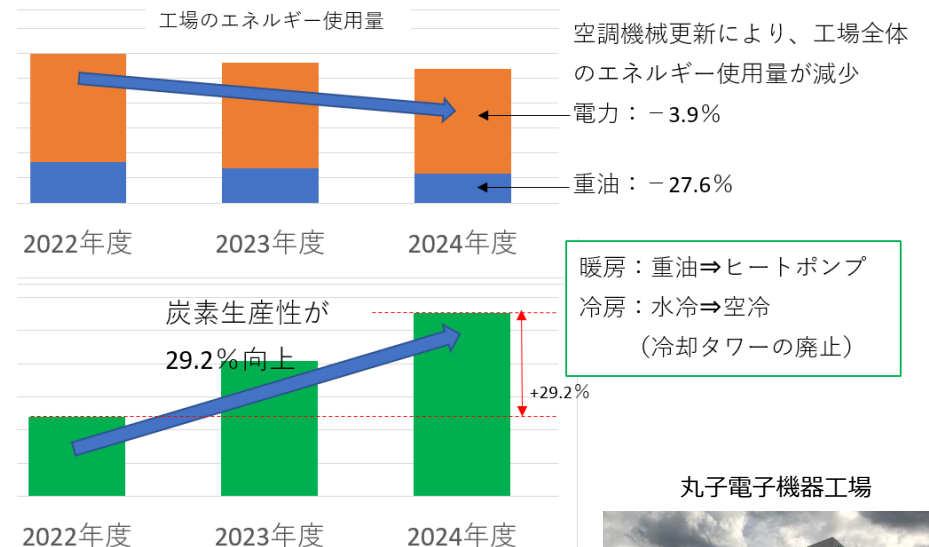
3. 前向きな取組の内容

丸子電子機器工場の空調機械を更新することにより、暖房用重油使用量と冷房用冷却タワーの運転電力を削減し、炭素生産性を29.2%向上させます。

4. 支援措置

・税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<取組の内容のイメージ>



丸子電子機器工場

